

株式会社昭特製作所
本社・溝ノ口事業所

この企業の製品と繋がる履修科目

【機械系科目】

機構学

>>>

繋がる理由

カメラ台に設置されたカメラは様々方向に向きを変えることが出来ます。カメラを可動させる部分には複数のリンク機構などが使われます。そうした機構を考慮することによって撮影者が思いのままにカメラを動かすことが可能です。したがって、機構学で学ぶ、リンク機構やその拘束条件、ジョイント（リンク同士を接合するための部品）、クランクロッド機構（回転運動を直線運動に変換する機構）などの基礎知識が役立ちます。

材料工学

>>>

繋がる理由

カメラ台のカメラ支持部は、カメラが動き回るため強い荷重が掛かります。カメラ支持部の強度や耐性を考慮して開発します。そのため、材料工学で学ぶ、強度計算や剛性、弾性などの基礎知識が役立ちます。

【電気系科目】

電気回路

>>>

繋がる理由

カメラを遠隔操作するコントローラーは電源回路や通信回路など制御回路など、様々な回路の組合せで成り立っています。コントローラーの機能により最適な構成部品を選定したり、開発したりします。したがって、電気回路で学ぶ、オペアンプ回路、フィルタ回路、AD（アナログ-デジタル）変換回路、DA（デジタル-アナログ）変換回路、電源回路などの基礎知識が役に立ちます。

【情報系科目】

組み込みシステム
工学

>>>

繋がる理由

ロボティックカメラは複数のカメラの動きを自動で動かすように制御します。カメラの動きを制御するファームウェア（組込プログラム）を開発します。そのため、組込システム工学で学ぶ、RTOS（リアルタイムOS）、マイクロプロセッサ、割り込み処理などの基礎知識が役に立ちます。

この企業のポイント

- 撮影機材(カメラ)をサポートする、三脚、ペDESTAL(カメラ台)、クレーンを開発～製造～設置～アフターサービスのソリューションを提供
- スタジオ機器では国内トップクラスのシェア
- ロボティックカメラ(自動カメラ)をコントローラーまで含めたシステムで開発

製品はここで使われています！

放送機器用クレーン、ペDESTAL、大手メーカー向けの特注メカトロニクス製品などを開発・製造しています。扱っているのは特殊かつ、産業システムの基幹を担う製品であり、常に高い精度と成果を要求されます。昭特製作所では設計から製造までの「ワンストップメーカー」としてのノウハウを活用し、単にご要望どおりの設計を行うだけでなく、製品コスト、品質、加工、組立方法の選択など、後工程の円滑な進行を見据えたトータルなご提案を行うことで、お客様にとって最適な製品づくりをサポートしています。